

- 1 日時場所 令和4年11月24日（木）9時30分開会
南魚沼市民会館 2F 会議室研修室

2 出席者

委員：岡村秀康教育長、西野仁委員、角谷正雄委員、須藤文子委員、川島亜紀子委員

事務局：片桐教育部長、関学校教育課長、西潟社会教育課長、西潟生涯スポーツ課長、山田子ども・若者相談支援センター長、小林図書センター長、小宮山管理指導主事、南雲管理指導主事、近藤指導主事、種村教育相談指導主事、中村指導主事、山田施設主幹、林学校指導係長

3 議題

- 日程第1 **会議録署名委員の指名について**
角谷正雄委員、須藤文子委員

日程第2 **教育長及び事務局諸報告**

（教育長）（日程2ページ、教育長及び事務局諸報告のとおり）

（西野委員）部活動改革専門部会について、スポーツ11種目という話であったが、今後11種目以外の活動に取り組む予定はあるか。

（学教課長）国は、休日の部活動を地域の活動へ移行し、その後平日の活動も地域へ移行し、完全に学校の活動から地域の活動へしていくようにと示している。その中で子どもたちのニーズに応じて、既存のものではない活動を地域の中に作っていくことになる。また、競技性を重視するニーズと、体を動かす程度でいいというニーズ等、様々なニーズに対応していくようにとも示されている。そういったことも含めて、今後協議していく予定である。

（須藤委員）専門部会開催後の日程はどうなっているのか。学区再編についての会議の見通しについてはどうなっているか。土曜学習の体験学習への参加人数は何人で、今後こういった体験学習を取り入れていく方向性か。

（学教課長）吹奏楽部は先月1回目を開催した。今後も継続的に開催していく予定。運動部に関しては、まだ具体的なところは決まっていないが、令和5年度から移行できそうな部は、継続して年度内に数回開催し詰めていく。移行が難しそうな部については、頻繁にはないが部会を開催し、情報共有を図っていききたい。学区再編検討委員会については、時間や回数等に捕らわれず、慎重に検討していききたい。土曜学習の体験学習には8名が参加した。体験学習を取り入れたのは今回が初めてであり、子どもたちからも素晴らしい感想が返ってきている。今後も続けていきたいと考えている。

日程第3 **管理指導主事等からの報告**

（小宮山管理）コロナウイルス感染症について、各学校へは基本的な感染症対策をしっかりと行うように指導している。児童間や児童と担任の関係が深まる時期でもあるので、諸課題も出てくる。各学校とも迅速、丁寧に対応している。引続き学校への支援、指導を行っていく。

（南雲管理）現在の中学校は、進路説明、新入生の説明会等が行われている。不登校については、昨年度に引き続き、教育相談担当、SSW、特別支援教育担当を中心に、ケース会議や個別相談をしながら対策を取っている。学校でも児童生徒や保護者とつながりながら懸命に取り組を進めている。今後は、ICTの活用等も含め、さまざまな場所で学び

を続けていけるようお願いしている。

(近藤主事) 就学相談については、11月末には終わる予定。

(種村主事) 中学校の不登校生徒については、進路相談を機に先を見通したつなぎの教育相談を行っていく。学びのステージに上がっていない子どもたちが多数いるので、どこかに最適な場所を見出してやっていかなければならないと考えている。新規不登校者の発生や、長期化する傾向が多くなっている。見立てについて、SSWと検討していきたい。また各連携機関が何を分担しているのか、もう一度明確にして対応していきたい。SSW、インクル、発達通級が重要な役割を担っていると思うので、バックアップしていく。子どもたちがどこで学ぶのか。学校だけではないと考えているので、学びの場を見つけてあげたいと考えている。

(西野委員) 今ほど、どこで学ぶかという言葉が出てきたが、南魚沼市では公立の学校で学ぶしかない。公立学校では難しいが、支援しながら学びの場を作るというイメージを持っているのか。

(種村主事) 具体的なイメージは持っていない。学校の力は大きいと思っているし、学校の中でも様々な場がある。学校外であれば、社会福祉協議会が運営している放課後学習や子若センターのスタディールーム、適応支援、塾などがある。そういった学びの場に上げていきたいと考えている。

(須藤委員) 中学生の不登校について、現在、対応を行っている中で、動きが取れていないケースなどはあるか。

(種村主事) 保護者連携が重要だとは思いますが、その保護者からオーダーがなく相談に入れない事例もある。家庭を開くことを諦めないで、対応していく。そのためにも、家庭と学校との信頼関係を築くことが重要だと考えている。

(中村主事) 10月中は、学校訪問を多く行い、支援を行ってきた。

(日程4ページ～5ページ、令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果について資料説明)

(須藤委員) 保護者がこの市報をどう受け止めるのか。学力向上との因果関係はないとは書いてあるが、悪影響があると感じている。教育現場と市教育委員会の連携のあり方も問われていると思う。何かしらのアクションをしてもらいたい。

(川島委員) 保護者からの反応を期待していたが、何もなかった。中学生になると、自分専用のスマートフォンを持つようになる。家庭での取扱いルールについて、話し合いを持ってもらいたい。発信方法を工夫しないといけないのかと感じた。

(中村主事) 自分が7月に北辰小学校で行ったように、学校現場は忙しいと承知しているが、普段とは違う形で行うのも有効だと考えている。また各携帯会社等も依頼をすれば講演会を行ってくれるので、そういったものを活用していくことも1つのツールだと考えている。一回行っただけで効果があるというものではないので、継続して行っていきたいと考えている。

(教 育 長) 教育委員会として、単独でアクションを行うのは難しいところがある。教育振興会等と連携して取り組むことが大事だと考えている。現在、関係の先生と話を進めている。生活に関わる分野については、市PTA連合会や青少年健全育成会とも協力して取り組んでいかなければならないと考えている。

(角谷委員) 日々の生活習慣を変えていくのが大事だと感じた。子どもたちのモチベーションを上げるために、テストのやり方を変える等、具体的な方策を取っていくのはどうかと考えた。

(須藤委員) 課題を共有する組織の範囲が広いほど、大きな力になるのではないかと考えている。

(川島委員) 子どもたちを忙しくさせた方が、ゲームをする時間が減るのではないかと考えてい

る。学校は、課題や宿題をもっと出してもいいと思う。
(西野委員) 教育計画を立てるときに、この地域では教育に対する熱意が低いと感じた。どうやって教育熱を上げるのかという問題を考えていかなければならない。

日程第4 その他

(1) 子ども・若者相談支援センターの相談等状況について(10月分)

(子若センター長) (日程6ページ、10月分相談等状況について資料説明)

11月16日に開催された「ふれあい祭り」については、児童・生徒12名、学校の担任3名、保護者4名、若者支援2名が参加した。

質疑なし

(2) 家庭教育支援事業実施状況(10月分)

(生涯学習主幹) (日程8ページ、10月分家庭教育支援事業実施状況について資料説明)

質疑なし

(3) 学校・地域の連携促進事業実施状況(10月分)

(学教課長) (日程9ページ、10月分学校・地域の連携促進事業実施状況について資料説明)

質疑なし

(4) その他

(教 育 長) 今後の日程について、次回教育委員会は12月23日(金)午前10時30分から市民会館で行う。令和5年第1回教育委員会は、1月27日(金)午前9時30分から市図書館で行う。以上をもって、第11回教育委員会を閉会とする。

11時15分閉議閉会